

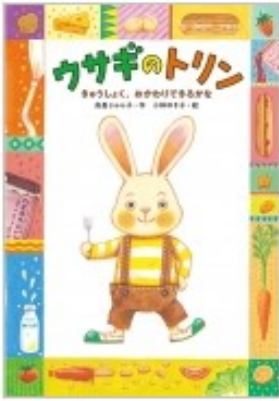
第30回

全国読書作文

コンクール対象図書

【小学生の部】

図書名 : ウサギのトリン きゅうしょく、おかわりできるかな
高島 じゅん子 著 定価 1,210 円 (税込) 小峰書店



ニンジンが苦手なウサギのトリン。ウサギなのにニンジンが苦手なの？ と思ったかもしれませんが、トリンだって思っています。だれが、ウサギはニンジンがすきってことに決めたんだろうって。人間の子どものすきなものといえば、アイスやケーキと決めつけるけど、きれいな子だっているわけで、それはウサギだっていっしょです。さて、そんなトリンは給食であまったチョコレートプリンを食べたくてたまりません。ですが、チョコレートプリンをもらうには、給食を残さず食べなければならず、今日の献立にはニンジン入りのグラタンが……。トリンがこまっていると、となりの席のネコのミアが、「きれいなものをうまく食べる、とっておきの呪文を教えてください」といいます。トリンは、チョコレートプリンをもらうことができるのでしょうか？ イラスト満載で、楽しく読み進めることができます。絵本よりも少し長い読み物にチャレンジしたい子にもぴったりです。

図書名 : ユンボのいる朝
麦野 圭 著 定価 1,430 円 (税込) 文溪堂



気が弱く言いたいことが言えずにいる小学5年生の幹。
家では、心を病んで会社に行けなくなった父に苛立ちつつも何も言えず、毎日忙しいお母さんにも、自分の気持ちを話せません。学校では、万引きを強要するクラスメイトにいやと言えず、万引きしてしまったことを後悔しながらも、誰にも打ち明けられずに悩んでいます。
そんな幹の慰めは、毎朝、幹の住むマンションの向かいのビルを、ユンボが上から解体していくのを見ることでした。夜はひとりぼっちで静かなユンボが朝になるとうれしそうに音をたてながら動いています。

ある日、幹が暗い顔で学校から帰ってくると、ユニボの作業員の博巳さんから声をかけられ、2人は少しずつ会話をするようになります。それがきっかけとなり、幹はお父さんや友達としっかり向き合うため、勇気を出して動き出します。

両親や友人との関係、いろいろな人間関係で悩むすべての子どもたちへの、作者からのエールのような物語です。

図書名 : うみべの文庫

堀米 薫 著 定価 1,540 円 (税込) 文研出版



宮城県塩竈市に住む長谷川ゆきさんは、「家庭文庫」開設を夢見て準備を進めていました。ところが、東日本大震災で被災し、集めていた約 800 冊の絵本が流失してしまいました。失意の中にいるゆきさんを、全国の多くの人が助けの手をのびし、支援をしました。それが「塩竈に一冊から絵本を贈ろう！」プロジェクトです。避難所生活から自宅に戻ったゆきさんは、全国の支援を受けて私設絵本図書館の再建に向けて立ち上がりました。そして 2012 年 11 月、「うみべの文庫」がついにオープンしました。「うみべの文庫」には子どもだけではなく大人もやってきました。画家や詩人、読み聞かせをしてくれる仲間たちもやってきました。「うみべの文庫」は絵本を通して、人と人との輪を広げる場所になりました。

た。

「うみべの文庫」は、絵本の持つ力と言葉の持つ力が人々の心をつなぎ、そしていやされる場所として、人々の拠りどころになりました。(残念ながら 2018 年 5 月に閉館となりました)

【小学生・中学生の部共通】

図書名 : あみちゃんの魔法のことば

ふじもと みさと 著 定価 1,540 円 (税込) 文研出版



「先天性四肢欠損症」という、手足がほとんどない障がいをかかえて生まれてきた佐野

有美さん。有美さんの屈託のない笑顔と懸命に取り組む姿をみて、周囲の人は親しみをこめて「あみちゃん」と呼んでいました。幼い頃から、足の指でスプーンをもって食事ができるあみちゃん。小学校の体育の授業で、からだ全体をつかって、ぴよん、とはずむように進んでいくあみちゃん。そして中学・高校と進学し、友人との関係や自分の将来について思い悩むあみちゃん。あみちゃんは大人になって、夢をかなえるためにいろんなことに懸命にチャレンジをしました。なかでも、自分の経験を、いろいろと悩んでいる子どもたちの励みになるように伝えて

あげたい。そんな思いが「講師」というお仕事につながりました。そして2018年、あみちゃんは大好きな人と結婚しました。この本の中では、努力を続け、けんめいに生きるあみちゃんが伝える、心あたたまる15の物語を紹介します。

図書名 : 「いただきます」を考える

生源寺 真一 著 定価 1,760 円 (税込) 少年写真新聞社



「あなたは、きょう何を食べましたか？」

わたしたちは、食べ物がなければ、成長することも生きていくこともできません。しかし、そんな大切な食べ物のことを、みなさんはどのくらい知っているでしょうか。

食べ物は、だれが、どこで作り、どうやって食卓まで運ばれてくるのか？ 世界にはおなかいっぱい食べられない人がたくさんいるのに、日本で毎日大量の食料が捨てられているのはなぜなのか？ もしも外国から食べ物を買うことができなくなったらどうなるのか？

この本では、日本と世界の「食料」と、食料を生産する「農業」について、みなさんに知っておいてほしいことをいねいに説明しています。読んだあとには、いつもの「ごはん」の味が、少しちがってくるかもしれません。

図書名 : その魔球に、まだ名はない

エレン・クレイジス 著 定価 1,540 円 (税込) あすなろ書房



野球から世界が見えてくる、少女の成長物語です。10歳にしてインテリの剛腕 K.C.ゴードンは、独自の魔球を編み出し、草野球では無敵のピッチャーとして活躍していました。

ある日、その実力がリトルリーグのコーチの目にとまり、すすめられるがままにトライアウトを受けてみたところ、みごと合格！ゴードンはメジャーリーグへと続く新たな世界に心躍らせるのですが、その扉は密告によって、鼻先で閉ざされてしまいます。

ゴードンのフルネームは、キャスリン・キュリー・ゴードン。女の子だったからです。でも、ゴードンは泣き寝入りしませんでした。リトルリーグの規定、第3条 G 項「女子は対象外とする」は不当であること、女子にも野球はできるということを証明すべく、調査を開始します。図書館に走り、女子野球について調べるうちに思いもかけない真実が……！

1957年、スプートニクが宇宙へ飛び立ち、公民権運動が盛り上がりつつあるこの時代の空気が、いきいきと伝わってくる物語です。

図書名 : 先生、ウンチとれました

牛田 一成 著 定価 1,540 円 (税込) さ・え・ら書房



先生は腸内細菌学者。アフリカ奥地の森で、ゴリラに怒られ、ゾウに追いかける！ それでも先生は、今日もただひたすら、“出したて”を探し求めます。野生動物の腸の中にある細菌から、生命の秘密にせまる。そのためには、まず、新鮮なウンチを手に入れることから。そのフィールドワークは、もはや冒険！アフリカの森を、サバンナを、山岳地帯を、先生はかけめぐる。誰も知らないことにたどりつくためには、道などない……。

「気がつけば、わたしは、あこがれていたアフリカの地で、望んでいた野生動物を研究する世界にいた」文学青年が一冊の本と出会い、進路を大転換。山登りに明けてくれた学生時代、フランス留学をへて、「動物のウンチ博士」になるまでの

軌跡。

一番ワイルド（野生的）で、アカデミック（学術的）なウンチ本です。

【中学生の部】

図書名 : 八月のひかり

中島 信子 著 定価 1,540 円 (税込) 汐文社



五年生の美貴は、二年生の弟・勇希と、体の弱いお母さんとの三人暮らし。お父さんは離婚したのでいない。勇希はもうお父さんのことをおぼえていないようだ。八月の夏休み、美貴は、働くお母さんのかわりに料理や洗たくをして、毎日をせまいアパートですごしていた。美貴には、夏休みに遊ぶような仲良しの友達はいない。美貴の家はとても貧しくて、それを知られると必ずからかわれるからだ。暑い八月だというのに、美貴の家ではエアコンをつけることができない。お風呂にも入れず、学校のプール開放でシャワーを浴びることにしている。そして毎日食べるのはキャベツばかり。夏休みは給食がないので、おなかがすいて心がこわ

れそうになる。そんな美貴の前に、数年ぶりにお父さんが現れて……。

「どうしてこんな毎日なの？ だれのせいなの？」 美貴の問いに、あなたは答えることができますか？ 人として本当に大切なことは何なのかを考えさせられる感動作。

図書名 : おじいちゃんの大脱走

デイヴィッド・ウォリアムズ 著 定価 1,760 円 (税込) 小学館



おじいちゃんは、イギリス空軍のパイロットだった。近ごろ、いろいろなことを忘れてしまう。おじいちゃんの頭の中はひどくこんがらがってしまったようだ。これは、とても大変なことだし、悲しいことに直す方法はない。そんなある日、おじいちゃんは、ロンドンの帝国戦争博物館に入り込んで、昔、自分が乗っていた爆撃機に乗り込み、空に飛び立とうと大騒ぎ。パパとママは、思案の末、おじいちゃんを老人ケア病院「たそがれホーム」に預けることにした。しかし、どうもその病院が、おかしいということに気がつく。出迎えたのは、ミス・ガメツイという名の院長。奇妙な規則がいっぱいのとんでもない病院だったのだ。こんなところにはいられないとおじいちゃんは、孫と一緒に脱走計画を練る。ホームに入っていた老人たちも一致団結して、大脱出だ。皮肉あり、笑いあり、涙ありの社会派エンターテインメント。おじいちゃんとぼくとのとんでもなく愉快的な大冒険。

図書名 : ゴースト

ジェイソン・レノルズ 著 定価 1,650 円 (税込) 小峰書店



これは、7年生(中学1年生)の少年が、陸上競技と出会うことで、自分の世界を広げていく物語。ゴーストは、スラム街に住む黒人の少年だ。父はアル中で、3年前、息子と妻、つまりゴーストと「母ちゃん」に向けて発砲したため、今は刑務所に入っている。

ゴーストは、足が速い。父に銃を向けられたとき、死に物狂いで逃げて、そのことに気がついた。ある日、学校からの帰りに、公園でトレーニングをしている中学生の陸上クラブに出くわした。飛び入りで俊足を披露して入部することになったゴーストは、逃げるためではなく、ただ走るという喜びを初めて知って、しだいに陸上にひかれていく。

チームメイトみたいに陸上用のシューズがあればもっと速く走れるのに……。自分の貧しさと弱さに直面するゴーストを、熱血漢の監督や個性豊かなチームメートたち、そして愛情深い母ちゃんがしっかりと支える。駆けぬける勢いと温かい心に満ちた小説だ。